

活力のある町づくり 観光立町を目指して！



質問者
中野 博 議員

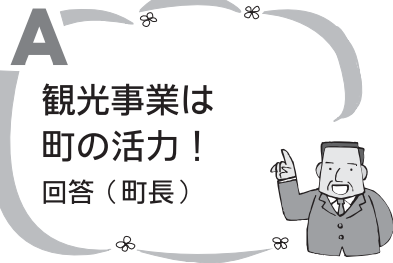
① 松田山ハーブガーデンの指定管理者について

現在公募している指定管理者は、西平畑公園のランドマーク的なハーブ館を中心とした施設運営を担いますので、桜まつりを始めとする各種イベント等の経営能力が問われます。活性化のための新たな指定管理者に、どのようなことを求め選定されますか。

② 最明寺史跡公園・前田屋外美術館建設予定跡地の観光的な活用について

最明寺史跡公園に咲き誇る大島桜、そしてハイキングコースの休

憩施設として公園を利用する人も少なくありません。隣接する前田屋外美術館建設予定跡地からの富士の展望も素晴らしいので、一体的に利用し観光エリアとして活性化するお考えは？



A 観光事業は町の活力！
回答（町長）

① 松田町の顔とも言えるハーブガーデンの指定管理者の選考は、応募者

者と十分なヒアリングを重ね、町民サービスの向上と自主事業に積極的に取り組むこと。また、隣接する子ども館や自然館との協調を含め、公園全体の活性化のため安易に委託料の低廉のみにとらわれず、施設運営・経営能力を発揮できる業者を選定していく。

② この一帯には、色々な種類の桜が約500

本、その他の花木も多種あり四季を通して楽しめる自然豊かな所である。現在は、散策路内にある展望台やテール、イス等は老朽化も著しく修理・新設を考えている。当面は、観光地化を視野に入れメディアを活用した宣伝をしたい。まずはハイキングルートとして復活させていきたい。

新松田駅南口広場整備事業を問う



質問者
小澤 啓司 議員

この事業は、新松田駅北口の混雑緩和を目的として計画されたが、事業実施以降第一生命事業所の移転に伴うバス利用者の減少や、小田原方面に向かう定期バスの大幅減便・廃止など、駅周辺の交通事情が大きく変化し

ているので、次のことについてお尋ねします。

① 平成23年度・24年度の整備事業が停滞しています。原因はどこにあるのか、進展の見込みはあるのか、当初予算内で完成するのか、進捗状況と合わせて説

明を求めます。

② 周辺状況の変化を見据え、整備事業の見直しや打ち切りは検討されていますか。

③ 新松田駅北口「地区計画」の策定について、地元説明会が延期されています。地区計画導入スケジュールは、どのように進められていますか。



A 新松田駅南口広場整備事業は、早期完成を目指す
回答（町長）

① 懸案になっている右左折問題・一方通行解

除については、県警などと鋭意調整している。また松田署との協議の結果、平成25年3月までに変電所側に仮設歩道の設置や駅広の拡大などを実施し、歩行者の安全と利用者の利便性を図る。全体の事業費は、当初予算以内に納まる見込みだ。

② 今後、新松田駅北口の交通緩和を図るため、早期完成を目指す。

③ 「地区計画」の制限内容や優遇措置などについて、県と調整を進め平成25年2月に地元説明会を計画している。地元の意見を聞きながらハード事業の検討を含め総合的に推進したい。



新松田駅北口